伯剌西爾時報
社報時剌西爾伯 所行發
電話 七〇六四・七
社長 石橋 忠雄 Director M Sameshima
訂一年 六十圓 訂半年 三十圓 信用御照會次第返信料 廣告は御照會次第
珈琲 サントス四級 一キロ ノミナル 一キロ七〇 一キロ 一二、四〇〇
替爲 對日 四、六六五 對米 一九、七七〇 對英 八〇、〇五〇

國民の誰もが全力發揮
熱と氣合で時代を引張れ
西下の途 新體制建設を語る風見法相

（靜岡六日同盟）風見法相は親任報告參拜のため六日午後三時東京驛發西下したが、車中新體制確立問題その他につき大要左の如く語つた

新體制確立問題

我國の現段階において國家新體制の樹設が必要であることは今更言ふまでも無い、新體制を實現に導らんとするには、先づ國民の動きは勿論として起りつゝある、この情勢を組織化して行くことは近衛内閣に託された重要な任務で擔當すればこそ前の政變は國家の新體制を建設せんがために行はれた政變であつたのである、從つて新體制の根本理念は要するに一人の下、万民が一體となつて世界新秩序建設の眞只中に乘り出し、有らん限りの力を振ひ得るように、國家の仕組みを建て直ほすことである、從つて新體制が一夜にして實現されるものでは無く理想に向つて新體制を樹設するまでの過程は、近衛首相のいわゆる英の道であることを覺悟しなければならぬ、從つて新體制建設は自己批判から出發し諸々の障碍困難を突破して進まねばならぬが、この覺悟を完了せれば大東亞新秩序建設の實を擧することは斷じて不可能である故に 國民の一人々々が悉く我こそは 時代を指導するのだといふ熱意と氣魄とを以つてその力を充分に發揮せねばならぬ、かくして新體制を完成せしめることは統後國民に課せられたる責任であると信ずる、新體制の建設は遠からず準備委員會の組織によつて、スタートを切ることゝ思ふが、その組織の方法並びに内容に關し言及することは今のところ差控えたい、只プロセスが非常に重要であるといふことだけは言ひ得る

選擧法改正問題

新體制に順應して衆議院議員選擧法に改正を加へねばならぬが、この問題が具體的に取り上げられた場合には司法省としても新體制に即應するよう積極的に協力したいと考へてゐる

司法省所管事項

過般の外人スパイ檢擧は憲兵當局と檢察當局との緊密な連繫の下に行はれたもので、司法當局としても犯罪ありとの確信の下に充分な責任を以つて行つた檢擧である、これを以つて政治的な措置だと見るとは我國における檢察裁判の嚴正公平な運用を辨へざるもの、從つて、取調べの經過に伴つてその嫌疑が自ら氷解する時機が到來するであろうし、その際は英國政府も勿論のこと、法權の正當性を感得することゝなろう

政治新體制の樹立に伴つて司法はどうなるかと、よく聞かれるが、如何なる時代、如何なる國でも裁判制度の備はらないものは無く、その裁判が正義に基いてなさるべきことは何人も疑ひの無いところだと思ふ

從つて政治新體制下にあつても國民に對しては政治權力機關に對して當に反省、勸告を求める機關の存在は必ずこれを必要としなければならない、只現在の民刑裁判制度は新時代の下に制定されたので新しい時代の實際に必ずしも適合しないところがあるかも知れない、この點については事務當局において既に再檢討に着手してゐるから、その成果を期待してゐる、只現在のように國民に犧牲を求める政治をなす時代においては、官吏の反省が特に要求されなければならない、官吏の責任が從來に比して著しく加重になつてゐる、これに法制の改革も必要かも知れないが、主たるところは官吏その人の心構への問題だが、自分は司法省内に設けられた司法研究所の施設が極めて有効なる成果を擧げることを期待してゐる

宗教の美名に隱れ 救世軍が賣國行爲

【東京六日發】去る七月三十一日我憲兵隊は諜報の嫌疑で救世軍司令官山村益藏少將、長谷川保雄書記長など幹部五名を拘引、目下嚴重な取調べを行つてゐるが、如何なる賣國的の不法行爲を繰返すに至つたかは、よく聞かれるが、

【ロンドン五日同盟】寃罪によりて異鄕の獄舍に起居すること四日、横濱三菱商事ロンドン支店長は、警官より早く五日釋放され、タクシーを拾つて三菱重役や在留邦人が詰めかけて歸りを待ち侘びてゐる自宅へ驅けつけて來た。

宮本武藏を讀んでると 放免の嬉しい知らせ
獄中記語る横原支店長

本武藏傳を讀み始めてゐたそこへ看守が顏を出して衛生を續けて與れた、田邊夫人が今日差入れたのをお聞き分けして與れたので、獄中に在つても同邦といふのは有難いものだ、獄舍では午後五時半から夜になり、それから後は全く靜かになつて了ふ、自分は寢坊かなと思つたが、それにしても早過ぎるのでベッドの上に胡坐をかき七時ちよつと過ぎまで宮本武藏を讀み耽つてゐた。やがてドアが開いた。思ふと、先刻の看守が顏を出して「あなたは放免です」と言ふことはないか思ひ設けぬ事だから一寸意味が分らず「何んだ」と反問すると「貴方は出獄です」と答へた、時計は丁度七時四十分を指してゐた、そこで靜かに衣服を換へ荷造りをした。三日間お世話になつた部屋に別れを告げたわけだ、立ち去り際に田邊氏の事が氣になつたから獨房のドアを叩かうとしたら看守に制せられた。やむなく「田邊氏は何時釋放されるのだ」と質ねたら「多分明朝ではないでしやうか」との返事だつた。監禁中には一度も訊問を受けなかつた。然し待遇は頗るよく、食物は何でも差入れ出來るし、晝夜共電燈は明るく、寢具は清潔で、一日三回の入浴も許された。

早朝冷い獄舍で

【倫敦五日同盟】英外務省は五日午後重光大使に對し政府は日下拘禁中の横濱三菱商事支店長を釋放するに決した

【東京六日同盟】横濱三菱商事支店長横濱覺氏を五日午後八時半釋放したが、警察當局は横濱氏の犯罪に關する證據充分なるを以て、不審のことは忘れてゐた。然えてゐるのは、功名心だけ、探偵心だけである。

周馬は、物かげに潛んで、一應邊りを眺め廻した。

番士のお長屋や役宅らしい棟が、ところ〴〵に建ちならんでゐる。が、そんなものはほんの片隅の建造物であらう。一體に聞く廣袤十六萬五千餘坪の吹上御苑は、

（百六十九）

旅路の卷
吹上園騷亂（一ノ三）

一町ばかり先を、誰かが歩いてゐる

周馬は眼を凝らした。つ、つ、つ——と、その影を追ふやうに足を早めたが彼「はて——？」と、小首をかしげたのは、その人影のどこかに、見覺えがあつたからだ

が、まさかにこれが、天滴の目明し、隼の文字兵衛であるとは、思ひも及ばぬことろ……

「誰だつたか？」

周馬を悩ませて行く影を見詰めて、暗夜に、周馬は思案するだが、思ひ出せない。考へに、なんとなし霧みたいなものが絡み付くはてな？

手をのばして鬱文鳴の狐格子をポンと押して、覗き込んだ

「おゝツ」

見して、その中は狹い道になつてゐた

祠の内の扉板が、すこし歪んでゐるから、蠟に手をかけると、ガラリと取りはづれた。その下は、洞然として、六尺ばかり堀下げてある

そこを下りて、しばらく横へ歩いて行くと、案の定、道はつゞいてゐる

これは、番士の厩や仲間部屋の者が、博奕や夜遊びに出入りする隱し路なのであらう

周馬は、まんまと吹上園の闇の内へ出たのだつた

「しめた！」

と、胸がをどる

この隱し路を知つたとんに、彼の心はもう、たつた一の先この道へ消えた宮の人影

徐ろである

周馬は、ハッとした

——といふのは、たつた今まで淡い月光の下に見えてゐた人影が不意に、横手の闇に吸はれてしまつたから……

「ヤッ！」

眼はすゞ、聲に出るところを噛みしめて、彼は足を早めたずッと、駈つゞきである。どこにも、人を吸ひ込む箇所はないをかしい！

いまの人影、たしかにこの邊りに消えたと思へる地點で周馬は立止まつた

見ると、その駈の前に、一個の靈文神の祠があつた

「こんなところに……」

と、その靈文神の狐格子をふり仰いで、はてな！ と彼すこし立ち迷ふのだ

どうもわからない

が——チカッと、心にさすものがある

「あ！ 事に依ると……」

と彼

義務的軍事訓練法案
米上院陸軍委員會を通過

【ワシントン五日同盟】陸軍上院軍事委員會に於て、審議中の義務的軍事訓練法案は、雖も紛糾の末五日やうやく同委員會を通過し、委員會に於て採擇されたる法案は、

一、聯邦及び州管理下の軍事訓練に參加する者は、一ドルの割合に俸給及び給料を支給すること

一、聯邦及び州管理下の軍事訓練に參加する者は、訓練終了後の復職を保障すること

一、訓練中その職業を廢るゝ者は訓練終了後の復職を保障すること

一、訓練中その職業を廢るゝ者は訓練終了後の復職を保障すること

但し戰時は右保證より除外

各分野の代表意見徴し
首相の構想本極りか
新政治體制 確立の備へ着々成る

【東京六日同盟】去る一日政府の基本國策要綱發表に際し、強力なる新政治體制の確立に邁進する旨全國民に公約、爾來新體制結成の順序、方法、組織等について愼重檢討しつゝあつたが大體の腹案が成つたもの〻如く、今後は主として安井內相、風見法相、星野企劃院總裁、富田書記官長、村瀨法制局長官、有馬賴寧伯後藤前之助氏などの新體制關係の側近同志をして、軍部、政界、學界、財經界、農村その他各方面の代表的指導者につき、各個別にその具體的意見を徵せしめる事とし、すでに一兩日來これが工作を開始してゐる模樣で、右意見聽取工作が完了すれば、首相の最後的構想は本極りとなるものと見られ、近衞首相は特に內閣總理大臣の名に於て新國民組織、議會翼贊體制を確立し、以つて國防國家體制を完成すべく萬難を排して邁進する旨の聲明を發するものと見られる。右近衞公の新體制聲明が新政治體制準備委員會の形成に先立ち發せられるのは、新體制が從來の新政黨結成と全然その意義を異にせる點を明確にする爲め、首相が堅持する新體制の目標、方向、組織大綱を具體的に國民の前に明示し新體制確立の指導者としての決意を示し、以て全國民に擧國協力を要請せんとするものである、しかして右聲明は恐らく首相が新任報告參拜より歸京後二十日前後に行はれる事となならう

下級官吏に春來る
手當支給案決定す

【東京六日同盟】下級官吏に對する臨時手當支給問題は、米內ヶ閣より現內閣に引繼がれ、大藏省で具體案を作成中の處、漸く成案を得たので六日の閣議に上、河田藏相よりこれを說明、各閣僚異議なく承認した、然して右手當支給案は大體百円以下の下級官吏にして、家族あるものに對し臨時手當を支給するもので、その最高限度は十円とし、これが財源は第二豫備金より支出する事になつてゐる、尙右に關する勅令案は、大藏、厚生兩省、企劃院、法制局各關係當局に於て協議打合せの上、來る九日の閣議に附議決定の上、交附手續をとることになつた

日滿支の青年教師
帝都に集ひ夏季大會
興亞教育 新體制へ異常の熱意

【東京六日同盟】第二回全國青年教師夏季大會は、日滿支「青年教師」千二百名參集の下に、二日から青山師範講堂で開かれ第一日の全員協議會に引續き第二日から興亞國防國民學校新體制生活の五部門に分れ青年教師の進むべき途を協議してゐたが、六日午前十時から再び全員協議會を開き、吾等國民教育の任にあるもの相率ひて擧道に邁一し師資相達を計り、教育の新體制を確立し、以て教育報國に邁進せんとするの宣言を可決、右宣言に副ふ實行方策として國民組織新體制の基礎確立、兒童へ產業、指導、軍事の技術教育の促進、國民學校の具體的內容研究、興亞教育連絡の爲めの外地教育者、大會開催等を申し合せ、十二時閉會式を擧行、教育新體制確立に熱度の無をこめた夏季大會の幕を閉じた

旋風裏に立つ日本經濟

震大動地の大戰爭は東西兩大陸に史上空前の大規模を以て展開してゐる、佛國の降服により歐洲の過半は急震變し、一體今後の世界はどうなるか、東亞建設の重大使命を擔ふ日本の經濟はこれによつて如何に影響を受け、また如何に整設してゆくべきか、世紀の大旋風に立つわれ等の心すべき問題につき斯界の第一人者を煩はしその對策を聽く

津田社長に鐘聽く

問　今度の歐洲戰は色々の意味において前回と違つた點がありますが、まづ戰爭の前途についてどういふ風に御覽になりますか

津田氏　ドイツの電擊作戰は引續きめざましい發展ぶりを示してゐるが、この破竹の勢ひの背後に祕められた英國は果たして、かねてからいはれてゐる如くカチに逃避して、再び長期戰態勢を整へるか、あるひは又もうこの邊で和を請じて戰爭は案外短期に終了を告げるのであらうか戰局今後の見透しはいづれにも一應の理窟はつけられるだらうが、とにかくこの度びの戰爭は明かに米英帝國侵略の葬送曲をもつて終るであらうことは間違ひのない事實であらう、一方イタリーも飽々獨逸必勝の日透しのもとに、エチオピヤ攻略以來の野心であつた地中海制覇を目ざし往年の大ローマ帝國再現の夢を實

問　それならばこの戰爭の結果による歐洲の新事態によつてわが國は如何なる影響を蒙るでせうか

津田氏　父祖の代からの勤勉の遺産によつてやうやく今日まで一路に邁進發展の一面を保つて來た英國も遂にその實力を暴露して、貸し家と同樣で書く三代目の悲境に沒落してしまつたのだ　わが國は果たしてかゝる轍を踏むでせうか

問　それならばこの戰爭の結果による歐洲の新事態によつてわが國は如何なる影響を蒙るでせうか

津田氏　父祖の代からの勤勉の遺産によつてやうやく今日まで一路に邁進發展の一面を保つて來た英國も遂にその實力を暴露して、貸し家と同樣で書く三代目の悲境に沒落してしまつたのだ　わが國は如何なる影響を蒙るでせうか

自主性ある往の好機
企業人は創意を生かせ（上）

新らしき政治體制
民政の解黨本格化
やはりその孫科
突如！香港へ飛來
反對熱に居たゝまらず

【香港九日同盟】重慶自棄部會議出席中の孫科は、會議半ばにして三日夜、突如重慶より香港へ飛來し、各方面の重大關心を惹いてゐる、孫科今回の來香は和戰問題と外統路線の選擇をめぐり、元老派及び知日派と正面衝突を惹起した孫科の引執せる高度聯ソ政策が各派の集中攻擊を受け、自己の政治的立場が甚しく困難に陷つたゞめであると解されるが、又孫科は六中全會に於て國民黨副總裁の地位を獲得してゐるので策動してゐるが、中共の傀儡化せる孫科は黨內の受が頗る惡く、反共派が林森を擁して孫を排斥するや、爾來彼は將介石及び元老派に深く恨む所があつたと云はれて居り、前路便船歸主

ふくれた男

◎イタリヤ領事館閉鎖となる、在伊伊人大憤慨だ、本國では怒髮天を衝いてゐることであらう

◎ふくれ面の孫科、重慶を飛び出す、汪先生とは違ふぞ、行先は香港だ

◎日本艦隊合體の根據地を拔錨、〇〇へ向ふと伯字紙は報じてゐる

◎二万五千トンの大艦を準備して雖難者を募つたが、應じた者僅に五十三名、香港での聲が高い

◎ソ聯の對イラン　要求は石油が目的だと、自國に無い譯でもないのに斷然が深い

◎英波軍事同盟を再確認した今頃波蘭と同盟とは？

新らしき政治體制
民政の解黨本格化
やはりその孫科
突如！香港へ飛來
反對熱に居たゝまらず

【香港九日同盟】重慶自棄部會議出席中の孫科は、會議半ばにして三日夜、突如重慶より香港へ飛來し、各方面の重大關心を惹いてゐる、孫科今回の來香は和戰問題と外統路線の選擇をめぐり、元老派及び知日派と正面衝突を惹起した孫科の引執せる高度聯ソ政策が各派の集中攻擊を受け、自己の政治的立場が甚しく困難に陷つたゞめであると解されるが、又孫科は六中全會に於て國民黨副總裁の地位を獲得してゐるので策動してゐるが、中共の傀儡化せる孫科は黨內の受が頗る惡く、反共派が林森を擁して孫を排斥するや、爾來彼は將介石及び元老派に深く恨む所があつたと云はれて居り、前路便船歸主

一粒肝油 ハリバ

都市對抗野球戰

【東京六日同盟】都市對抗野球大會は、廿對二で吳が仙台快勝

吳〇〇一一〇〇〇〇
仙台四〇二〇二四一七

超短波

定例閣議

六日午前十時より首相官邸に於て定例閣議を開催、席上松岡外相より英の今回採つた臨檢は一種の報復に過ぎない不法行爲である、帝國としては英がどう出置するかお見きはめた上、嚴然處置する積りだと述べ

議案の下級官吏に臨時手當支給の件を可決した

結城日銀總裁 首相を訪問

結城日銀總裁は六日午後一時三十分近衞首相を訪問約一時間會見し、最近の經濟問題について會談した

日伊文化協會

日伊文化協會では六日午後一時第一回常任委員會を開いたが、關係者十五名出席、岩倉氏議長となり日本宣傳映畫製作について種々意見の交換を行つた

稻は上出來

北日本一帶の美田は豐饒の秋に向ひ繁作は上出來で二百七十万石と豫想されてゐる、都岡縣野以北の五所原、林檎の出來も良く北海道の馬鈴薯は殆んどこぶし大となつてゐる

捕鯨

宮城縣八月中の捕鯨成績について關當局の發表に依ると、百六十頭に上ると

山形に製鐵所

資本金一千五百万円で山形に一大製鐵所が設立される事に決つた

福島女子青年會

福島女子青年會では七月七日の事變記念日當日一千名を動員、廢品回收に當つた

時報案內

紙函

聖市グリセリオ街六二、四一
長田エスヨト製作所
電話七・二六七四番　一〇九番
電話七・二一五六番

家庭用、事務用新型箱子陳列棚各種御用命に應じます
聖市ルア・ダ・リベルダーデ九四八
電話七一四四五四　鮫島新之助

木下事務所

法律事務一般及飜譯
聖市ルア・リベルダーデ角八階八四＝八五號室
電話　三・四六四〇

手塚法律事務所

法律事務一般
仕事は長年の經驗に依り全く御用切に取扱ます
聖市プラサ・ダ・セー四六番地二階三〇七號室
電話　三・四六四〇

日本品直輸入 破魔商會

聖市パウリスタ街二九〇番
郵函　三五三七
電話　四・四六六一

聖市グローリヤ街三番
電話　二・六八四八
淺倉齒科醫院
R. da Gloria, 352 S. Paulo
(Largo do S. Paulo)

急募

青年三、四名募ります、テオドロ・サンパイオ街一〇一四
チンフラリヤ・モンテネグロ

Instituto XV de Novembro

Rua da Liberdade; 57
月一〇$〇〇〇
タイプライター科
ポ語及外語教授

貸間

寢室一室、食所一室、但子供樣無き方、當方も子供無し、大原兄弟商會橫通り、アントニオ・バーエス街一五番、日獨產組內電話四一六八四四　鄧山

募集

バッサドール二名、見習　二、三名
ルア・ブレッセル二〇五番（プラス區）
チンフラリヤ　カピタル

齒科 荻原

ルア・セーレス一二六
中央メルカード前

時報原稿用紙

十五字詰二十行、紙質上等、特裁優美、體裁の善き好い原稿用紙です
百マイ　二ミル　送料共
切手代用可

DRA. G. CALASANS
CIRURGIÃO DENTISTA

善い神經を保つ爲に身體を強化する

此複雜怪奇の世相に强い身體、善き神經を保つ爲には戶外の空氣にあたり榮養食物を攝り體操をやり定期中の休暇をする事は缺くべからざる事である。

わかりきつた事ではあるが總ての人は食べる事は知つてゐても榮養價値取が出來てゐない。榮養の不足は人體に必要缺くべからざる微量要素の不足を惹起し腦病、神經衰弱等の素因となる。

例へば榮養の不足は神經衰弱となり記憶力不足、元氣喪失、心臟動悸、心配病、燒氣不足となる。

此種病者は斷然新の衛生法則を守り賢者にかゝらねばならない。

榮養不足には賢者は必ず催の日獨製神經强化に特效あるバイエルのトノフォスファンを推薦する事は確實である。

急な場合の爲めゼヒ各御家庭に

越中富山 御藥

端町1299
堀市電車通國
富山ホノルル市
輔本町
哇布店
支店
ブラジル支店

長森聖榮堂

C. POSTAL 4128 - S. PAULO

配置袋一箇宛御備へ下さい

拜啓　各位益々御淸榮の段大賀至極に存じ候
就ては小生儀
今尙健在にて七月拾四日金婚式を擧げ申候
小生事
マニラ丸にて昭和七年六月廿七日サントス港到着、ノロエステ線カフエランジヤ驛サンタマリア耕地に參り申候者にて船中は勿論現在に至る迄種々御世話に相成り萬重にも御禮申上候此の時に際し一々御知らせ申し上ぐべきが本意に有之候處時節柄失禮仕り候間御了承被下度候
先は右御知らせ申すと同時に皆樣方の御壯健御祈申上候

ソロカバナ線ブ・プルデンテ驛
郵函　四六三
北海道人　**菅原善左エ門**

同航者各位

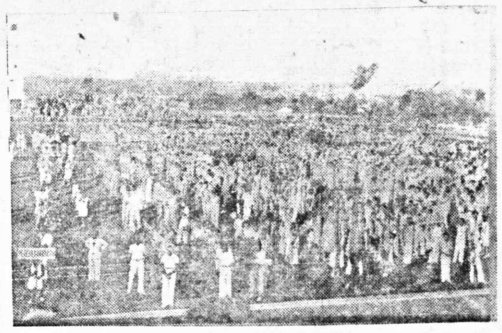
陸軍病院
衛生兵の手記
北米第二世娘（ガールス）の談會

大嶽康子

軍看護婦の職業にたゆる日本娘切のユーモア作家の第一人者が、南支の戰地と、南支の戰地と、南支の戰地と

アラサツーバに擧る歡呼

聖州執政官の臨席を仰ぎ バーロス競技場開場式



既報＝アラサツーバ市立アデマル・デ・バーロス運動場ノ成式は三日より十一日迄一週間に亘り、各種スポーツ競技大會を擧行されるが、第一日目の三日は特にバーロス聖州執政官臨席を仰ぎ一段の光彩を放つ筈で、午前十一時より開會式を擧行せら

れた

一萬有半の歳月と、六百コントの巨費を投じて鍍成した聖州第一の近代的施設を全く文字通り大スタヂアムを埋めつくし、ア市空前の大盛況を現出した、定刻四時轟々たる煙火を合圖に

完備せる新築の大運動場にノロ線各地より殺到せる群集は

執政官は、アラサツーバ市長パラドン・フルキン氏の案内で國歌吹奏裡に臨席するや、續いて陸上競技、フ

タトボール、ラクビー、蹴球、聖州邦人陸上競技聯盟ノロエステ各地支部、野球、庭球各倶樂部、ノロ線全運動倶樂部並にアラサツーバ、グワラ、ベス、ビリギキ、リンスの中等學校並に小學校生徒總動員、參加の上壯嚴な入場式を行ひ、ベルリン五輪大會に因みアラサツーバ運動選手リレーにて、グリセリヲ運動場より移し奉

持の聖火は、指手裡に點火され、國旗掲揚、パラドン市長の歡迎挨拶、アデマル州執政官祝辭、ビスポ、エンリケキ、セーザ、モーロン氏の祝辭あつて式を終り各團體選手、アラサツーバ州立中學校生徒の合同體操あつて、競技場落成式第一日の壯擧プロは終了を告げた（寫眞はパーロス競技場の開場式）

官選 安瀬氏の壯行會 ア聯日會主催

アラサツーバ聯盟日本人會では來る十日午后七時より同市ホテル・ドス・ビ

アジアンテスに於て、來る九月上旬のあるぜんちな丸で那人代表の一人として海外同胞者會議に臨む官選安瀬盛次氏

運動精神を發揮して 邦人の面目を施す

敗れて悔なきノロエステチーム

アデマール・バーロス運動場落成式に一頁を飾る、唯一の呼物たる第二日目、聖市のフエデラソン・パウリスタ・デアスレチズモ・チーム對ノロエステ陸上競技聯盟の對抗陸上競技は、アラサツーバ市長パラドン・フルキン氏臨席の下に、午前十一時より開催せられた。何分サンパウロのナンバーワン、南米で名聲ある强豪陣と鉢合せの事とて各種目に亘り相當の善戰は見れなかつたが、ノロ陣各選手よく健闘、正々堂々の健鬪は、パウリスタ精神の心髓を寒からしめ、殊に三段跳距離は流石のパウリスタ軍も怯えたものか、遂に棄權して了つた。ノロ軍敗れたりとは云へ、スポーツ精神は優り邦人の面目を施し、午后四時歷史的競技を終了した、成績は次の通り

百米　◎一、カルニキー　一秒四◎二、ファビオ◎三、林◎四、日野◎五、後藤

百十米ハードル　◎一、一五秒五、アルフレッド◎二、一六秒島田◎三、安田◎四、古川◎五、安永

砲丸　◎一、一三米三五　フランシスコ◎二、一二米三二イカロ◎三、一二米二八玉置◎四、一一米八八森本◎五、一〇米二九　久保

四百　一、五四秒七　アルベルト・サアヂ◎二アドリヨン◎三、下大迫◎四、杉浦◎五、山中

八百　◎一、二分二秒五　アゼノール・シルバ◎二、ネルソン◎三、杉浦◎四、根布谷

二百　峯◎二、ファビオ◎三、日野◎四　林

千五百　◎一、四分四八秒八、ネストロ◎二、ゼネジオ◎三、アルミド◎四、石田◎五、ガルマチ

四百リレー　◎一、四八秒八　ノロエステチーム、此の競技パウリスタチーム途中バトンを落した爲め中止

三千　◎一、九分三一秒　一、マリオ◎二、アルマンド◎三、笠原◎四　ガルシア◎五、ムニロ◎六

竹島

千六百リレー　◎一、一分四二秒九、パウリスタチーム

高跳　◎一、一米八五、アルフレッド◎二、一米八五　イカロ◎三、一米七五、有森◎四、一米六五、長安

幅跳　◎一、六米五八、有森◎二、六米四〇、タヂオ◎三、六米二五　ブチヤラ◎四、六米一〇、宇佐美◎五、六米〇九、上技

圓盤　◎一、三九米八一　オズワルド◎二、三六米九三、イカロ◎三、三五米六二、シッコ◎四、三四米六二、森本◎五、三〇米六二、玉置

棒高　◎一、三米七〇、イカロ◎二、三米六〇、石田◎三、三米四〇有馬◎四、三米三〇、長安◎五、三米一〇、三池

槍投　◎一、五六米二七　バグリアリ◎二、五一米八九、池上◎三、四九米四〇、時山◎四、四八米六五、玉置◎五、四六米四六　阪田

植民地永遠の守護神 同志の靈を聖堂建設の礎石に

文化植民地の記念事業

ソロ線文化植民地では、去月二十八日の開拓記念祭を協會、青年、婦人、靈女の四會々同の下に盛大に擧行したが、その記念事業として開植民地永

二千六百年擧配を兼、植民地創立十五周年記念祭を協會、

年の懸案であつた殉會堂建立の定礎式が森牧師司式の下に行はれ、業半ばにして殪れた二十數名の靈を大コンクートの壁柵に納め、永遠に植民地の護りとなる標斬り聖堂祭壇の大礎石として安置した、因に同教會は工費百コントス三ケ年計畫として着々準備が進められてゐると、開會日は來る九月六日で、青年會、婦人會、兒童の大運動會が催される

移植民史をカバンに 歸國する輪湖さん

九月五日あるぜんちな丸で

ころ後二十日、多忙の同氏を海興内事務所に訪ねると左の樣に語つた

一、移植民卅年の歷史として書き殘す以上は確實な統計もとり資料の調査もやつたが、何分短期間の事と部分的な事は至難だ、只斯ふ云ふ事は言へる、日本政府會社から見た「從」の移民の動きでなく、渡伯後の移民が辿つた動向、流れといふやうな「橫」への發展振りを調べ、モデアナから漸次森林地帶へ移動した模樣や、殖これが將來の見透しもつけ加へ、從來これに類似したもので數十となく發刊された國勢調査的な固い、木を噛んだやうな味氣ないものでなく、目で見て興味の伴ふものとする點に苦心した、ただ私としては初めて一年の期間があつたらと殘念に思つてゐる

（寫眞は輪湖俊午郎氏）

同志の靈

ソロ線文化植民地では、去月二十八日の開拓記念祭を協會、青年、婦人、靈女の四會々同の下に盛大に擧行したが、その記念事業として開植民地永

あるぜんちな丸 英の臨檢を受く

【東京六日發】南米向航行中の商船あるぜんちな丸は六日セイロン島コロンボにて英官憲の臨檢を受け

み廻し調査は出帆した

商船は總り百十一個は次便船に積み込まれる由

體協事務所 開所祝ひ

既報の邦人體育協會事務所は聖市プラサ・ダ・セ二九七番

（商五三番）五階の五二〇號一五二二號二部屋を借り切つて設置されたが、一昨五日午後八時より體協關係者が集合し那字新聞記者を招待してその開所祝ひを行つた、因に

學生聯盟事務所も同事務所内に設けられる筈

バラグワスに 新棉作地

石濱氏二十城に六千五百アローバを收穫

茨城縣人石濱貞一氏は今から二年前數家族と共にバラグワス驛から廿八キロの地で棉作に從事した所、案外の好成績で一城三百アローバの收穫を得、低級人氣が集り本年五十家族の大集團地となつたので、過日日本人會の創立を見又外

都市對抗野球

（東京六日發）都市對抗野球二日目六日の勝組左の如し

八幡　一五―〇　福岡
京城　四―〇　鷹取
仙臺　二〇―二　吳

小學校用 學習帳

（書面參照）

【お斷り】南樹氏の「埋れ行く拓人」は本日休載

緣起をかつぐビッシヨ黨 凝り過ぎて寢小便 結局儲からん事になつてゐるです

△

ビッシヨと女とビッシヨの三つは、人生々活に缺くべからざるものだと博士號的に論ずる者が最近益々擡頭して來た酒は嫩ら（一圓ふのが無理かなし）

△

ビッシヨをかける時の牢固とした確信を他の事業に向けたら（一圓ふのが無理かなし）

△

「こりや朝から緣起がいいぞ」と獨り語云ひながら拾はうとしたが、霜で氷着いて取れないそこで名案？小便をしかけたら離なくとれた、それまでは良かつた目が開めて見たら小便だけ本當で、金は夢だつた、いや失禮——

△

これはリンスでの話、星金某ビッシヨをかけ始めたが、五ツかけても十かけても皆目あたらん、二十四のビッシヨにかけたら殘り一ツの番號が出て又すべつた、すつかり氣をくさらして、損をしてもいゝから一ぺんだけあてゝ見たいと二十五のビッシヨ全部にかけた、これで明日はいやでもガニヤてると、安心して翌日行つて見たら、そのビンヨ屋、その夜々逃してもぬけのからツぽ、結局全部かけてもあたらなかつたといふ……

南伯國より 十字章——贈與

ゼツリオ・ヴアルガス大統領は去る三日左の三氏に南十字章の勳章贈與の法令に署名された

日伯文化協會長　徳川頼貞侯
外務省アメリカ局長　吉澤清次郎
外務省儀典課長　鈴木九萬

母國觀光團

一、特別三等席　滿員
一、普通三等殘席ありて期限後の申込を受くることに商船會社の了解を得ました
往復船賃及觀光費
海行銀行部へ全額拂込の事

事務取扱所
サンパウロ市ルア・コンセレーロ・フルタード一九一

印刷物は……

廉價、迅速の時報社へ！

日本宣傳 ポスター

一日伯間を藝術的に結ぶ美術的ポスターを製作する爲め日伯文化協會では、日本觀光局の依賴で日本宣傳ポスターを次の條件で募集してゐる

賞金、一等二コントス一名、二等一コントス一名、三等五百粁二名、その他名譽銅章若干名
締切、八月廿五日
宛名　リオ市ラルゴ・ゼツリオ・ヴアルガス二番一階

福本包子に告ぐ

毋心配の餘り病氣す 逢ひたい至急歸れ

ノロエステ線ガラ、ベス驛セルジツペ繁元角太郎内　母ハル

寄人廣告

左記ノ者ノ現住所承知被度ニ付本人又ハ御存知ノ向ハ當館迄御一報相煩度シ

記

福岡縣宗像郡河東村字地浦　高橋武八
鹿兒島縣神崎郡種五社字川並　外村富三郎
福岡縣三潴郡城島町鳥塚　久富勇
愛知縣名古屋市東區千種町大字車田一八〇　野々宮信雄

昭和十五年七月三十一日

在サンパウロ　帝國總領事館
Consulado Geral do Japão
Caixa Postal 1167, São Paulo - Brasil

廣告

本協會は第九回全伯邦人陸上競技大會及第五回全伯邦人野球大會を開催するに付各支部は左記要項により申込まれたし

第九回全伯邦人陸上競技大會 後援 四邦字新聞社 聖州新報、ブラジル時報、日本新聞、ブラジル朝日

一、期日　一九四〇年八月十一日及び九月一日
二、場所　チエテ競技場（場合により變更あるやも知れず）
三、種目　百、二百、四百、八百、千五百、五千、一萬メートル、百十高障碍、四百、千六百メートル競走、走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳、円盤投、砲丸投、槍投
四、規則　昭和十五年度朝日運動年鑑陸上競技規約による
五、申込期日　一九四〇年八月十四日迄に本會事務所宛の

Praça da Sé, 297 5º and. salas 520-522 Caixa Postal 4283

六、少年競技　三百メートル競走　左記文敎普及會地方支部代表チーム參加
サンパウロ、オウリーニョス、パウルー、プ・プルデンテ、リンス、アラサツーバ　後援ブラジル朝日新聞社
▲第五回全伯邦人野球大會　後援ブラジル朝日新聞社
一、期日　一九四〇年九月六、七、八日
二、場所　七日カナカオ球場、八日カエンブー競技場
三、規則　昭和十五年度朝日運動年鑑野球規則による
四、出場チーム　左記六地方選抜代表チーム
パウリスタ、ノロエステ、ソロカバナ、パラナ、聯市近郊（サントスを含む　サンパウロ
五、試合方法　AB式リーグ戰
六、用球　美津濃製大學リーグボール
七、主將會議　九月五日午後七時半より體協事務所に於て

Praça da Sé 297 5º and. salas 520, 522

以上

全伯邦人體育協會

ブラジルの國籍を取得せよ！

準二世諸君!!

ブラジル改正國籍法公布以來その將來を失ひ人生の希望を全く失はんとしつゝあつた準二世諸君！該法公布以來の苦惱單なる迷夢に過ぎなかつたのです、見よ！「伯國に歸化せんとする外國人は本國政府に對し兵役の義務を完了せる事を立證す可し、但し徴兵適令滿了前に本國を出でたるものは右立證を必要とせず」（本月五日司法大臣決定）と

同胞諸氏に告ぐ!!

伯國々籍の取得が相當困難である今日、外國人の活動範圍が著しく制限され今後も益々制限されんとする今日伯國憲法を以つて既にブラジル人たる事を確保されてゐる者が同胞間にも數ある事を忘れてはなりません又之らの立場にあるものが外國人登錄をした場合ブラジル市民たる權利を自ら破棄した事になり近い將來に之らの者は國籍を取得し得ない事になるであらう事を忘れてはなりません

歸化手續

を既に開始し先年の改正國籍法により中止となつてゐる方で尚引續き手續を完了せんとされる場合は一應御一報下さい

此の機を逸せずブラジルの國籍を取得しませう

說明書を御求め下さい（印紙御封入の事）無料配布します

所務事律法下木
MASSAO KINOSHITA
Advogado - Trad. Juramentado
Caixa Postal, 1386
S. PAULO

Redação - Rua Fagundes, 196
Telephone 7-4670
Caixa Postal H
Director M. Samesima

NOTICIAS DO BRASIL

Proprietario SEISAKU KUROISHI

Assignatura Anno ... 60$000
Semestre ... 30$000
Numero de dia ... 300 reis
Gerente S. Kuroishi
Redator-chefe M. Yanda

ANNO XXIII — S. Paulo, — QUARTA FEIRA 7 de AGOSTO de 1940 — DIARIO No. 2251

Edição Brasileira

Traducção dos artigos principaes em lingua japoneza

Verdadeira barreira aérea defende as costas da Grã-Bretanha

LONDRES, 5 (Domei) — A proposito do combate aéreo, hoje, no sudeste, sabe-se que alguns aviões britânicos encontraram-se com unidades das forças aéreas alemãs, quando estas se preparavam para atacar um comboio de navios mercantes que demandava o Canal da Mancha.

Até ás 12 horas de hoje este combate foi unico facto importante do dia.

TRÊS APPARELHOS ALLEMÃES POSTOS FORA DE COMBATE

LONDRES, 5 (Domei) — Informa o Ministerio da Aeronautica que a «Royal Air Force» abateu hoje, na costa sudeste da Inglaterra, três aviões inimigos, acrescentando que de sua parte, os ingleses perderam um aparelho.

O QUE INFORMA O MINISTERIO DO AR BRITANICO

LONDRES, 5 (Domei) — O Serviço de Informações do Ministerio do Ar escreve a destruição de 3 aparelhos inimigos e declara:

Dois Messerschmidt-109, de combate, foram atacados ao largo do Canal da Mancha. Um terceiro tambem foi atingido, mas no meio da acção não pode ser seguida a sua quéda e, em consequencia, não pode ser dado como destruido.

Por outro lado, um avião de caça foi abatido no meio do canal, por uma esquadrilha de «spit fire». Um dos pilotos da esquadrilha declarou que no principio da luta havia 18 ou 20 aeroplanos inimigos, mas que logo que a esquadrilha apareceu, o céu ficou limpo e todos os aviões inimigos fugiram para suas bases».

BOMBAS EXPLOSIVAS E INCENDIARIAS SOBRE O LESTE DA INGLATERRA

LONDRES, 5 (Domei) — A atividade aérea inimiga prosseguiu sem alterar o seu ritmo, tanto na zona costeira como na central, dando motivo a violentos combates.

A proposito o Ministério da Segurança interna publicou o seguinte comunicado:

«Aviões inimigos arremessaram bombas explosivas e incendiárias durante a noite passada, em alguns distritos isolados do leste da Inglaterra. Os danos ocasionados são insignificantes e as vitimas muito poucas, mas uma delas pereceu».

Os Estados Unidos em face da guerra européa

BERLIM, Julho — Estourada a guerra européa, a opinião publica norte-americana sofre da coqueluche de commentar os acontecimentos no Velho Mundo e prever-lhes o desfecho final, favoravel ou desfavoravel para uma das facções em lucta, circulam os mais differentes palpites sobre si a participação activa dos EE. UU. teve grande ou pequena influencia sobre a guerra ou, então, tecem-se conjecturas a respeito de uma futura intromissão positiva dos Estados Unidos e dos provaveis resultados da mesma. Para muitos este jogo de opiniões ens itue uma modalidade de «sport», apparentemente inoffensivo, mas nem por isto cheio de lances inesperados e de consequencias imprevisiveis. Outros ha que não escondem as suas sympathias pessoaes por um dos paizes em lucta ou a sua antipathiae outra a outra facção. Estes sympathisantes fazem o que podem para levar os Estados Unidos á participação activa da conflagração européa.

Muito provavelmente, porém, esta participação activa não se tornará realidade, pois ha, pelo menos officialmente, forte corrente contra este ponto de vista. E' verdade que armas e material bellico são fornecidos aos alliados, mas estes fornecimentos ficam muito aquem das esperanças e necessidades dos alliados. Os Estados Unidos luctam com certas difficuldades internas que, no seu conjuncto, mostram-se bastante fortes para excluir a possibilidade extrema de uma declaração de guerra official dos paizes do atlantico, a despeito de certas sympathias pelos alliados que prevalecem em alguns sectores governamentaes.

Existe, em primeiro lugar, a opposição interna contra qualquer intromissão norte-americana na guerra européa. E' a opposição por certo é numericamente inferior ao grupo opposto, aliadophilo; mas é la se mostra consideravelmente mais forte do que a opposição existente durante a Conflagração Mundial, cujos elementos então não estavam á altura da situação. A opposição de hoje está capacitada a desfechar de vez em quando uma offensiva vigorosa contra os chamados intervencionistas, o que já fez nos ultimos mezes, com indiscutivel successo, mórmente ao tempo do senador Borah. O grupo isolacionista conta, em todo o caso, com o apoio da maioria do povo norte-americano que pouco espera de lucros provenientes de fornecimentos de material, e que ainda menos está disposto a sacrificar vidas em beneficio de outros paises e dos seus interesses totalmente estranhos ao norte-americano.

A rapidissima acção militar allemã com as suas famosas «Blitzkrieg» empolgante em differentes frentes fez com que os isolacionistas norte-americanos reclassem um reforço moral para desprezivel para a sua lucta contra a intervenção e contra os interventionistas. Basta ligar attento para as expressões dos militares responsaveis norte-americanos, segundo as quaes qualquer auxilio aos alliados seria ineficiente pela insufficiencia e pelo atraso, concluindo os estrategos norte-americanos neste terreno em todo o caso, uma perda de energias prejudicial ao proprio armamento dos Estados Unidos, sem que os alliados fiquem em qualquer vantagem apreciavel nessa situação. Em todo o caso, o auxilio norte-americano, assim se declara aberta e continuamente pelo mezes para se converter em realidade, uma vez que as fabricas teem de adaptar-se á avalanche de pedidos de material bellico. Assim sendo o auxilio norte-americano virá tarde para a Inglaterra e para a defesa da metropole britanica. Ainda mais, a attitude do Japão e da Russia Sovietica está causando certas preoccupações nos Estados Unidos, havendo actores que falam em favor de uma cooperação Pacifico, caso os Estados Unidos venham a empenhar-se seriamente numa aventura européa. Especialmente o Japão está interessado, como se sabe, em por as cousas em paz no Pacifico, acção esta que se estenderia sobre todo o Extremo Oriente, em primeiro lugar em direcção as Philippinas, Indias Neerlandezas e Indo-China bem como partes da India britanica, Austria, etc. A Russia Sovietica, anti-japoneza por indole, talvez venha a atalar-se da idéia de guerrear o Japão, uma vez que o Mikado, em vez de importunar os russos, concentra a sua attenção sobre paragens differentes, ao sul.

De resto, os norte-americanos não pederam o seu tradicional realismo, o senso pratico. Estes sabem que depois desta guerra, uma nova ordem haverá de impor-se, pedindo desde já a attenção americana sobre o que será do espolio anglo-francez no continente americano. Desde a Groenlandia e o Canadá até as ilhas Malvinas, muitas questões podem ser venti'adas dentro em breve. A este respeito basta lembrar, ou, de accordo com uma voz autorisada, os Estados Unidos não tomarão parte activa na proxima guerra ou orél, porém, estes ganha-la-ão. Parece ter chegado o momento em que esta palavra se approxime da sua realização.

Ademais, o povo norte-americano em geral lembra-se demasiadamente bem da Conflagração Mundial, que lhes custou enormes sacrificios sem ter proporcionado as vantagens esperadas e promettidas. Desta vez, porém, o povo norte-americano parece disposto a praia a opposta, nada ou pouco arriscando para tanto mais ganhar. Dado o facto da Inglaterra, depois da queda da sua alliada franceza, já não murar muitas esperanças fundadas de sahir victoriosa da peleja, o senso pratico norte-americano começa a acariciar a idéia de uma approximação aos poderes do Eixo, as quaes depois da victoria final, terão de dirigir os destinos da Europa. Taes auspicios não poderão exercer sua influencia sobre o modo de pensar dos yankees, robustecendo-lhes a convicção de que quem vai ganhar, não pode ficar do lado do commerciante já semi-fallido.

NOTICIARIO ESTRANGEIRO DO «NOTICIAS DO BRASIL» E' FORNECIDO PELA AGENCIA TELEGRAPHICA «DOMEI» JAPONEZA

LEIA O NOSSO

KODOMO NO SONO

Suplemento do jornal "Noticias do Brasil"

家庭 お！！あこがれの"ニッポン"

明治大帝の御陵に參拜（下）感激的な場面を展開

廣島へ

在米國艦隊には大きな存在である廣島への本家本元の廣島ではある。

岡山から廣島への風光明媚の景色は國東者にも、お江戸を發つ私には景色においてタヂ〳〵の體、初めて見る瀬戸内海の島々、白帆に風を孕まして走る和船の和やかな風景、櫓を漕ぐ漁夫の姿、何一つとして珍でないものはない。點々と海に浮ぶ島々に生ひ茂る松の緑の美くしさ、清らかな水に映る空の色、廣島人は何故こんな美くしい所に別れてアメリカなどへゆくのであらうとさへ思へた。

廣島驛に降り立つと此處にも校友を初め、市のお歴々の出迎へを受けた。全く恐縮した。早速驛前で記念撮影、直ちに宮島へ向ふ。左に瀬戸内海を眺め、網ひ漁夫の群を目守りつゝ、滑るやうに走る船、船、船、宮島が眼の前に浮ぶ。大きなフエリーには五六百の人が乗つてゐるが、誰れの眼も此の異、なグループの上に注がれてゐる。後甲板に陣取つて英語の校歌を合唱、エールをどなつて繁國行進曲を歌ふなど賑やかなこと〳〵

……

宮島に着くと助役松本氏の案内で嚴中社嚴島神社へと向ふ。途中お土産街を通り抜け、嚴島の名物のお饅頭にチヲリと横目をやりながらサツサと歩き神社へ參拜、世界の公園の名ある嚴島神社の大鳥居にピタリ、鹿に餌を與へたりして宮島ホテルの樹間の茶店に腰を下しビューテフルを連發、懐しき名殘りを告げて廣島に引返す。

……

プランが昨はつて今夜の晝業講演會は小學校の講堂で催すことになつたが、その前に市役所に校友、その他の有志主催の我等歡迎晩餐會が華やかに開かれ、學生達大よろこび、皆急ぎに他所ゆきの服とつときのお行儀で出席する事になつてゐる。短いながらも日本語の講演も出來る。かいつた事においても留學した甲斐あつて、各自が日本語に對する自信を知らず〳〵の中に感じ得られるやうに教へられてゐる。

廣島での滯在は大盛會であつた。約二千名の聽衆は堂に溢れ戸外にまで溢れ、窓から中をのぞくといつた盛況で、二世も彈丸黒子の事ゝ思ふ。現に山陽中學校長の山本市太郎氏も私の所に聽きに來られて廣島にかける二世の現狀を詳しく話された。同校に在學中の二世は羅府廿七名、布哇四十五名、北加、加奈陀が八十五名と聞く。なか〳〵盛んなことである。

……

二世の講演の内容についても記し度いが紙數に限りがあるので殘念ながら省略するが内容頗る興味大成功であつたかうして廣島での會も盛會裡に終り、翌朝京都へ向つて廣島にサヨナラを告げ、多數の見送りの萬歳の聲に送られてその夜京都へ着いた。西洋人の諸君が京都を好きであるやうに、二世の諸君も東京よりいゝと聲に京都を禮讃する。ノンビリとした京の町人も、物も、表情の上に和やかな、おどかさが受取られる京の町には近代文化が押し寄せて來ることは、むしろ悲しいことゝさへ思はれた。

五條の繁榮様といふ素晴らしい宿へ一泊、夜は自由行動とあつて一風呂浴びた學生は早速夫遍り、京極方面へと吸ひ込まれていつたのも、旅のつかれは何のその…と遊に若い人だけに、遊ぶことなると遂に元氣百倍、邪魔を生やして飛んで行つた。

京都の朝は清く、秋空高く晴れ渡り、加茂川の水も最近の雨に水量も增して京の情緒に一段の趣を添へ、昔し名高い「京染」の友禪が水の流れに晒されてゐるさまに二世諸君が驚きの眼をしばだたいてゐる。加茂川の水が赤くなればなる程京の町は黒字になるのだとか。あの有名なこの地の名物松茸は暖かい過ぎて不作、惜しいかな食べそこなつた。

京都

午前五時起床、七時には二台の遊覽バスに分乘して平安神宮、智恩院、圓山公園、八坂神社、清水寺、桃山御陵、乃木神社、金閣寺、御所、嵐山と大車輪の見學、轉に、桃山御陵では全國各地から續集した小學生中學生の修學旅行の團體が累列する前を、我等の學院が多彩な國際色の人種で組織した學生が、明治大帝の御陵に詣つて嚴肅さを行ひいとも敬虔なその姿は感激的な場面をかもし、聞隙の人々の襟を正さしめた。

この敬虔な姿こそ、早稲田國際學院が世界の人種に呼びかける日本精神揚の大使命であり目的である。日系第二世の心の糸に觸れさすべく名取先生初め十二名の諸先生が目夜寢食を忘れて、一日系二世へ捧ぐる生涯の仕事」として悲壯な決意で敎鞭をとられてゐるのだ。

京都では同志社大學から茶會に招かれて行つた。米國式な明朗な學生達は、米國へ歸つたやうな氣持になつて同志社大學生と歡談を試み、別れを惜しみつゝ再びバスの人となつた。

……

その夜私達は再び車中で一夜を明かし、雨の東京へと着いたのだが、明けやらぬ空は導く東洋平和の建設、聖業皇民族の一致團結への情熱等に人間何れの擔台にも一魂と點」が凡てを支配する、かういつた日本的な感激、東洋特有な心の訓を體のあたりに見る二世諸君の日本留學は必ずや彼等の心に日本魂の何物かを殘し、將來の精神的寶はたしかに大きいと思つた。

多彩な國際色の人種

結び

私は此の旅行を通して、日本に勉強に來てゐる二世が、如何に日本を觀察し、認識し戰時下に於ける日本の姿を共に、その下に流れる我が國民の、たぎる熱血と愛國の心、聖戰が如何なるものであるかを體得し、明朗にして力強き建設へ邁進する日本の姿を、しつかりと胸に抱いて歸米することゝ信ずる。

牛和な愛

（カットは嚴島）

御存じですか？

濕布から起る 皮膚の"カブレ""ただれ"

風邪の流行から濕布をなさる方が多いのですが、これが父皮膚に色々の障害を起して困るものです。それは濕布で皮膚を清潔にすること、第二皮膚を御温湯でふいてタルカムをふつておくことです皮膚が弱る所へ持つて來て皮膚からの分泌物のついたのをよく洗ひもせずにまたつけるから益々不潔になつてかぶれたりただれたりするのです

などですとかゆいのです

果物で 喉かい飲物

りんご湯 林檎二個の皮を剥き、一分四角に切り、鍋に入れ水四合と砂糖六匁を加へて火にに掛け、林檎が軟かになるまで煮て片栗粉大匙二杯を水溶きして流し入れ、一沸して茶腕に注ぎ入れ熱い所をすゝめます

蜜柑湯 蜜柑二個の皮を剥き、袋をとつて身を出し、細かにほぐして二個のコップに入れ次にリモン一個を二つ切りとして酢を取り、これを蜜柑のコップに注ぎ入れ、水三合に砂糖五十匁を入れ一沸騰させてコップに注ぎ入れて直ぐすゝめます（三人分）

茶の梅流し 茶五匁をよく煎つて土瓶に入れ、湯四合を注ぎ、火に掛けます、これに梅干二個または三個を加へて三分間ぐらゐ煮立たせ、水飴三十匁と砂糖三十匁（大匙四杯）を加へ、一沸して、火よりおろし、茶漉で漉し熱い所をすゝめます（三人分）

世紀の英雄（無敵艦上にて）

夏目伸二郎

（五）

銃と鋤と（五）

源太郎に手を捧たれて泊子は飛ぶやうにして逃げた。夢中であつた。どの通りを抜けて走つたかてんで記憶が無い。氣がついた時は、松化江のへりに立つてゐた事と、ハイヒールの踵がけし飛んでちんばを引いてゐることだつた。靑牧は、いつの間にかひどく無口になつてゐた。それが、ふと彼女の歩く容子をみて

「どうしたんです、これからどうします」

「どうとも」

彼女は言ひそうが無いのと全くの疲りなさに小さな聲で答へた

「どうとでもつて、貴嬢の事ですよ」「え、知つてゐますわ。あたし、とても怖くてキヤバレーには歸れません

もの一「あゝ、キヤバレーの方ですか」

と、源太郎が、不用意に言つた言葉が、どんなに彼女の心に傷手をこうむらしたらうか。彼女はもう何も言ひたくなかつた。黙つて松花江の濁つた水に瞳毛を伏せてゐる。

「どうしました？」

「いゝえ、何でもないんです。あたし、貴男に助けて戴くやうな價値の無い女かも知れませんわ。キヤバレーの唄ひ手ですもの」

「いや、そんな意味で僕は言つたのではない。たゞ、意外だつたので…」

「でも、あたし、あそこの支配人に、客をとれと言はれて絶したことからあんな目に會つたんですの。あなたが來て下さらなかつたらすんでのことに、あたし畑に——」

ぶるつと身震ひして月をつぶつた

「嬢にどうしたのです？」

「嬢ごて？　そんな亂暴な話があるんですか。ハルビンだ鐵橋は、吹きすさぶ風に僅かに唸つてゐる。

僕はこの松花江大鐵橋の巨大な姿をみる度に胸を衝たれずにはゐられないのです。

勿論、こんな綺麗をあなたに御聞かせしなくても御存知とは思ひますが、彼の日露戰役の折り、神、橫川の二勇士がラマ僧に拳銃して、ここでこの鐵橋を爆破しやうとしたが不幸にしてロシヤ兵に捕まり絶刑に處せられたのです…

「あら、あたし、さうした事實を知りませんわ。どうして爆破しやうとしたのです？」

「貴嬢は本當に知らないのか。日本の女性としてそれも知らないなんて情ないな。いや、僕が說明してあげませう」

かうして二人が話してゐる姿を彼方からカメラに修めやうとしてゐる外人があるを二人は知るや知らずや。果してその外人は二人をカメラにをさめやうとしてゐるのか、また、二人の背後にある鐵橋を撮影の鐵橋を撮寫體としてゐるのであらうか

會葬御禮

故 柳原傳助 儀不慮の災難にてマリリア サンタクルーザに入院治療の處遂に七月二十七日午后十一時永眠仕り塾二十八日マリリア共同墓地に埋葬仕候間生前厚知諸賢に謹告仕候

葬送の際は遠路態々御會葬被下尚又過分の御花環御香料等賜り厚く御禮申上候

昭和十五年八月 日

妻 柳原ちゑ子
義兄 深津増太郎
姉 深津いま
甥 深津治雄
親戚 山口清十郎
同 稲生八藤雄
松田義雄
篠原雄次
村田政喜
長瀬貞吉
島谷義督
神原政雄
小林勝喜太郎
知友人代表

サンタ・アンブロジーナ植民者代表

Dierberger & Companhia

LOJA: Rua Libero Badaró, 499 - 501
Caixa Postal, 458 - São Paulo

果樹苗各種

果樹苗移植の季節です 絶對安全の定評ある弊店苗木を是非御利用下さい

野菜種子

花卉種子、植林用樹子球根類その他弊店の種子は歐洲原産地から直接輸入、而かも聖州政府當局の發芽檢査に合格した安心の出來る種子でございます

庭園用苗木、ユカリプト其他農業用、庭園用各種金屬製養蜂器具一切、肥料、農用藥品何でも取揃えてございます

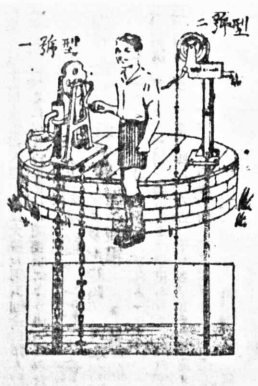
多少に拘らず御注文下さいませ、ご注文は日本文結構です、カタログ無代進呈申上ます

チエルベルゲル商會

聖市リベロ・バダロ街四九九—五〇一
郵函 四五八

堅牢無比 殆ど破損のない エレバドールボンプ

一號型 四〇〇餘
二號型 五〇〇餘



此のポンプは鎖でパイプの中をゴム栓で引上げる裝置に成つてをります

ハンドルを廻せば水はどん〳〵揚る

二號型は齒車裝置で第一號型に比して輕く揚ります、二十米以上の井戸には此の方を御奬めする

水の揚る事は普通のピストン式のものに比して數倍

家庭用及び野菜畑灌水用に特に用ふ

時報商事部

地方代理所 リンス、マリリア プ・アルデンテ 時報支社